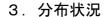
## シマホザキランの概要

# 1. 分類

被子植物 単子葉類 ラン科 シマホザキラン Malaxis boninensis 絶滅危惧 I A類(環境省レッドリスト2012)

### 2. 形態的特徴及び生物学的特性

- 小笠原諸島父島及び北硫黄島にだけ生育する日本固有種。
- ・高さ15~25cmで卵状披針形~長楕円形の長さ5~10cmの 葉を数枚つける多年生草本。花序は少しつまって花数が 多く、花は淡緑色。



父島の中央部、標高200m~250mほどの林内に生育する。 平成17年に北硫黄島でも確認された。

# 4. 現在の生育個体数

父島の自生個体は10株未満。

## 5. 生育を脅かす要因

外来種アフリカマイマイによる食害、周辺の木々の生長に伴う日照不足が 圧迫要因。また、自然災害による生育地の崩壊や干ばつのおそれ、株が小さ いためにノヤギに踏まれてしまう危険性が指摘されている。

#### 6. 保護増殖事業の概要及びその効果

- ・平成16年国内希少野生動植物種に指定、同年保護増殖事業計画(農林水産省、 環境省)策定。
- ・東京大学附属植物園において系統保存を実施。
- ・自生地での踏みつけ防止柵の設置、人工授粉による結実促進等の増殖試験 を実施。

# 7. 他法令等による保護の状況

自然公園法に基づき、小笠原国立公園の指定植物に指定されている。

